

第7回セイカ子ども大学

「ミニしかけ絵本をつくろう！」

実施報告書

- 【主催】 SEIKAクリエイターズインキュベーション推進拠点コンソーシアム
＜精華町・けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク（K-Scan）＞
- 【後援】 精華町教育委員会
- 【開催日時】 2023年11月3日（金曜日・祝）
午後1時30分～4時30分
- 【開催場所】 S E I K Aクリエイターズインキュベーションセンター
- 【開催趣旨】 五味太郎さんの絵本「まどからおくりもの」のようなミニ仕掛け絵本を製作し、変化する絵のおもしろさについて考えながら、オリジナルの絵とストーリーを自由に発想し、膨らませる。
最後には全員で発表し、作品の鑑賞や講評を行う。
- 【講師】 京都精華大学マンガ学部カートゥーンコース講師 榊原 太郎氏
- 【参加対象】 学研都市に居住する小学3年生～6年生（保護者同伴）
- 【参加者】 12組 13人
- 【参加料】 1,000円
- 【広報】 チラシ配布：精華町立小学校
チラシ配架：精華町役場・図書館
SNS：精華町HP・Instagram、K-Scan HP
- 【内容】 ①あらかじめページに窓の穴が空けられている4ページ（表紙と裏表紙を含めると6ページ）のストーリーを考える。
ページをめくると、窓の内と外で絵が変化するおもしろさを考えることが大切。
- ②鉛筆で下絵を描き、絵の具やペン、色鉛筆など、いろいろな画材を使って色を塗る。
- ③読んだ人にわかりやすいように、文字（説明文）を入れる。
時間が余った場合は、表紙や裏表紙に絵を描き絵本の完成度を高める。
- ④できあがった作品の鑑賞や講評を行う。
- ※アイデアを考える — 絵を描く — 遊ぶ の一連の作業

しかけ絵本のしくみや作り方の説明聞き、ストーリーを考える。



下絵を描いて、絵の具やマーカーなど思い通りの画材で色を塗る。



ストーリーと絵を発表、先生からの講評



できあがったしかけ絵本



【アンケート結果】

このイベントを知ったきっかけは？（数字は人数）

- ・チラシ（ 学校から ⑬ ・ 公共施設等 ） ・ 精華町HPやSNS
- ・その他（ ）

「ミニしかけ絵本をつくろう！」はどうでしたか？

- ①作業 ・ 簡単すぎた ① ・ ちょうどよかった ⑫ ・ むずかしすぎた ①
- ②説明 ・ わかりやすかった ⑫ ・ わかりにくかった ①
- ③時間 ・ 時間が足りなかった ⑦ ・ ちょうどよかった ② ・ 時間が余った ③

ワークショップ全体を通じて、どうでしたか？

- ・ よかった ⑬ ・ よくなかった ① ・ その他 ①

※その理由をご記入ください。

- ・ 先生や学生さんのアドバイスがいただけて、楽しく作業ができました。
- ・ 画材がたくさんあって使いやすかった。
- ・ 子どもと一緒に作品を作ることがなかったので、貴重な時間になりました。
- ・ 自分で考えて作ることが楽しそうだった。
- ・ しかけ絵本を作って楽しかった。
- ・ 絵が描けて、自分の思ったような作品ができた。

その他、お気づきになられた点、感想等をご自由にご記入ください。

【本人】

- ・ しかけやお話を考えるのが楽しかった。
- ・ 最初は何をすればいいかわからなかったけど、たくさんアドバイスをもらって楽しかった。
- ・ 描くのは楽しかったが、アイデアやイメージを考えるのが難しかった。
- ・ 上手にカタツムリが描けて嬉しかった。
- ・ いろいろな部屋の絵を描いたけれど、あまりうまく描けなかった。
- ・ 窓を自分であけるのかと思っていたが、あいていて楽だった。ペンの色もたくさんあり、欲しい色が見つかった。
- ・ 先生のアドバイスがわかりやすくてよかった。

その他、お気づきになられた点、感想等をご自由にご記入ください。

【保護者】

- ・楽しそうに描いていて、親も嬉しくなりました。
- ・先生方がアイデアのアドバイスをしてくださったので助かりましたが、開いた四角を使ってのしかけ絵本を完成させるアイデアが、なかなか難しいものだと思います。
- ・絵を描くのは苦手でしたが、やさしく教えていただきありがとうございました。
- ・子どもの自由な発想に驚かされました。
- ・自分で工夫して作業するのが楽しそうだった。こうしたほうが良いのでは、と思っていたら、自分で考えついたので、おもしろかった。口出しせずに見守る努力をしました。
- ・珍しく集中が続いていたので、楽しく興味を持って参加できたようです。
- ・親子と一緒に楽しく参加できるイベントで、ありがとうございました。これをきっかけで、子どもが絵画や美術に興味を持ちました。
- ・兄弟で参加し、それぞれしかけ絵本のアイデアを自分で考えて、絵にすることができました。先生方もよく声をかけてくださり、最後まで集中して作品を作り上げることができました。
- ・いろいろなアイデアにふれられてよかったです。
- ・最後急ぎ足になってしまったので、はじめに大まかなタイムテーブルの例など示してもらえたら、もっと段取りよく進められたかと思います。でも、親子共々楽しく参加できました。

今回のイベントのように精華町では、みらいを担う子どもたちに、学研都市にふさわしい学びの機会を提供する「科学のまちの子どもたち」プロジェクトの取り組みを行っています。

当てはまるものすべてに○をつけてください。（数字は人数）

- ・良い取り組みだと思う ⑫
- ・学研都市にふさわしい ⑥
- ・今後も継続してほしい ⑪
- ・精華町の子どもたちは恵まれていると思う ⑥
- ・このプロジェクトを知っていた
- ・このプロジェクトを知らなかった ③
- ・その他 ② （・もっと町内に発信してほしい。
・毎回かなり狭き門の抽選なので、もっと枠を増やしてもらえたら嬉しいです。）